

2024年2月27日



小田急電鉄株式会社

Klook Travel Technology Limited

インバウンド旅行者の利便性向上に向けて

2月27日、小田急電鉄と Klook Travel Technology がデジタルチケット販売の分野で業務提携～事前にオンライン購入したデジタルチケットの、来日後引き換えの省略を目指します！～

小田急電鉄株式会社（本社：東京都新宿区、取締役社長：星野 晃司）と Klook Travel Technology Limited（本社：香港、共同創業者兼 CEO：Ethan Lin）は、2024年2月27日に基本合意書を締結し、体験・交通等のデジタルチケット販売の分野でスマートな顧客体験の実現に向けて、両社のサービス連携を実現するための検討や技術開発等を協力して推進することとしました。

協業により
目指す
顧客体験*
*イメージ

klook

EMot Online Tickets

バウチャー内の URLから遷移

Klookで購入後、電子バウチャーが届く

EMotオンラインチケットで 発券・利用

小田急電鉄は、5カ国語に対応している電子チケットサービス「EMot オンラインチケット」、アプリ「EMot」を運営しており、箱根や江の島・鎌倉などの沿線観光地のほか、浜松や秩父など全8エリア、34種の周遊デジタルチケットを販売しています。Klook Travel Technology が運営する「Klook」は月間訪問者数6,000万人、世界180カ国以上にユーザーを抱える旅行・レジャー予約プラットフォームであり、観光施設チケットやツアー、公共交通、宿泊の手配サービスを提供しています。

現在、「Klook」では訪日外国人旅行者向けに数多くの国内鉄道会社の企画乗車券等を販売していますが、その多くは、来日後に指定の窓口にて引き換えが必要な「バウチャー」タイプの商品です。また、コロナ禍の収束により引き換え窓口は混雑傾向にあるため、お客さまの貴重な旅行時間をチケット引き換えに費やすことにつながっており、このことを課題として捉えています。

今般の連携により、「スマートな顧客体験」として、訪日外国人旅行者が「Klook」で購入した「企画乗車券等」を、実券に引き換えることなく「EMot オンラインチケット」上のデジタルチケットとして利用可能にすることを目指します。これにより、前述の課題を解消し、日本での旅行時間を、最大限お楽しみいただける環境を整備したいと考えます。また、事業者側の「チケット引き渡し」に関するオペレーションの省力化も実現されるため、将来にわたり安定的な観光サービスの提供にも寄与します。

連携サービスの提供時期や対象チケットの詳細については、決定次第お知らせいたします。

以 上